



トキワヒガシ No.52

七日(水)に、三・四年生が中央クリーンセンターと仁木浄水場、そして青木川が矢作川に注ぐ地点の三か所へ校外学習に出かけました。中央クリーンセンターと仁木浄水場は、私たちの日常生活を支える大切な役割を担う場所ということ、子供たちは真剣に担当の方の話を聞き取り、多くを学ぶことができたようです。一方で、二つの川の合流点では、誰かに教える請うのではなく、自分の目で見て感じたことを率直に言葉や文字で表現していました。

この校外学習に先駆けて、担任の先生たちは現地に赴き、子供たちに何を見せ、何を学ばせるかを綿密に立案していました。あいにくの出張で当日の子供たちの帰着を迎え入れることができなかった私に、翌朝、担任の先生が「昨日、校外学習に出かけてきました。……(中略)……。多くのことを学んできました。子供たちは全員無事に戻りました。」と、報告に来ました。その話しぶりから、この校外学習が**大成功であったこと、先生方が学びをしっかりと支えてくれたこと**を感じました。



この秋の大きなイベントとして、県を挙げて開催に尽力したアジア大会、アジアパラ大会があります。**スポーツ、そして外国文化に触れる絶好の機会**だと思い、本校でも、全校で試合観戦に出かけました。バレーボール観戦が初めてという児童、そもそもスポーツ観戦が初めてという児童、自身がバレーボールを経験していて身近に感じている児童など、**子供によって感じたことも感じ方も違ったこととは思いますが、良い経験になったこと**と思います。移動の大変さなどの理由から、大規模校では観戦を見合わせたという話を聞くにつけ、小規模校ならではのフットワークの良さをこれからも発揮していこうと思いました。アジア大会は閉会しましたが、パラ大会はこれからです。学校として出かける機会はありませんが、ぜひ、この機会にご家庭でも足を運んでいただければと思います。



十二月五日(土)に、東京で開催される日本河川教育学会で、六年生児童が本校の実践紹介をすることになりました。活躍を期待します。